



十月(神無月)

2013.10.1 発行 第43号

【十月の歳時記】

一日 衣替え
 八日 寒露(かんろ)
 十四日 体育の日(2000年から第二月曜日に移行)
 二十三日 霜降(そうじょう)

『人』
 今年もあと三ヶ月。クリスマスあたりの予定を話していてもピンときません。でも、あつという間ですよね。

九月はやはり災害が多かったですね。この地方でも大雨で交通機関がマヒしたり台風は関西から東北、北海道まで被害を及ぼし、さらに竜巻。空も大地も荒れ狂ってる。まだ警告を発しているように思えてなりません。

さて、今回のテーマは「人」

先月号で東北に出かけることはお伝えしましたが、あの大雨の翌日夜から行ってきました。今回同行していただいた方は、石巻三十回目と十回目のベテラン。運転も全てお任せで、不安もなく出かけました。

目的は、東北支援で知り合った方に直接会うこと。ドキュメンタリー映画の舞台となった小学校を見に行くこと。仮設住宅などで珈琲を淹れること。瓦礫処理のお手伝いをする。

今の状況を目で見る。仙台のジャズフェスティバルに行つて演奏を聴くこと。たくさんの方の目的を持って訪れた東北は、たったの三日間でしたが、内容の濃い充実した時間でした。

別頁に詳しい旅行記は掲載していますが、実際に会ったことのある人が一人もいない東北で三日後にはいっぱい友だちができました。

珈琲ミル持参で行つたので、その場で珈琲豆を挽いて淹れたことが、とても喜ばれました。私にとっては毎日のありふれた光景ですが、皆さんの反応のおかげで、とても新鮮でした。ささやかですが幸せを感じました。そして出会った全ての方が温かくて、優しく、人間つていいな。また必ず訪れます。皆さんも機会があったら是非訪ねてください。



10月のギャラリー

■ 10月2日(水)～10月16日(水) 『私たちの鉄道”模景”展』

たまジオラマクラブ



■ 10月11日(金)10時30分～ 『木もれ陽コンサート』

アルパ&サクセス「aromamoon」
 要予約・限定30名様 料金 2,000円(ドリンク付)
 詳しくは、ホームページをご覧ください。



奥村 陽子



真室 香代

■ 10月22日(火)～11月2日(土) 『わたし色の光のアート』



スタンドアート予約席教室
 生徒作品展
 体験レッスン
 「フォトフレームを作ろう」
 講師 仙石真理子
 11月1日(金)・2日(土)
 10:00～12:00
 費用 2,500円

■ 11月3日(日)～11月15日(金) 『渡邊会長&趣味の作品二人展』

- ・水彩画 渡邊浩
- ・伊勢型紙 酒井義和
- ・陶芸 溝口忠夫



10月 神無月 わがままカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

赤字の日はお休みになります
 赤字の日は貸切
 黒字の日は「木もれ陽コンサート」
 黒字の日は時間変更
 10月16日(水)は19時まで

定期教室のお知らせ

- 10月12日(土):10時～スタンドアート
- 10月15日(火):10時～プリザーブドフラワー
- 10月23日(水):9時15分～折り紙
- 10月25日(金):10時～アレンジフラワー
- 10月26日(土):10時～ビーズ

希望者募集中(詳細はお尋ねください。)

- リラクゼーション 10月7日(月):10時～
- 指ヨガ 10月8日(火):10時～
- ギター 随時

お問い合わせはすべて:  TEL (0587)53-4218

初めての東北の旅

9月5日(木)夜～9月9日(月)

SCENE 1 9月6日 9:30～10:30

早朝に宮城県に到着し、奥松島沿岸部を走り、その後目的地セントケア矢本を訪問。ある方から千羽鶴を届けて欲しいと預かり、末永美雪さんを訪ねました。震災でスタッフ2名を亡くし、さらに家族や家をなくされた方もいましたが、いち早く、利用者さんの安全確認などリーダーとして指揮を取られました。ここから“人”に会う旅のスタートです。(鶴の補足ですが、全国のセントケアから寄せられた鶴17万7520羽をつなげて全長5700mという世界記録を達成しました。)



SCENE 2 9月6日 11:00～15:30

『石巻市立湊小学校避難所』という映画に登場する「愛ちゃん」こと村上愛子さんの住んでいる仮設住宅を訪ねました。珈琲好きの愛ちゃんの為にミルで挽いた珈琲を淹れました。「もったいない～」と言って時間かけて飲み干してくれました。この後予想外の展開が…。ご飯を炊いてくれたことで、買出しに行き、おかずを作り一緒に食べて、さらに食後の珈琲。お話もいっぱいして楽しい時間を過ごしました。時間を忘れ長居してしまったので、ややあせり(汗)

SCENE 3 9月6日 16:00～16:45

避難所だった渡波保育所(通称わたほい)は今は整地され、別の地に「チームわたほい」の基地がありました。代表の奥さんに案内されたその場所は、かつて家族が仲良く暮らしていた場所でした。敷地には寄り添う三人のお地藏様。。そこに集合したのは、「天まで届くおやつり」の海苔漁師さん(相澤さん、阿部さん、平井さん)とその仲間たち。電話で話したのが1ヶ月前。こうして出会えたことに感謝です。みんなで集合写真「ハイ、チーズ!」



SCENE 4 9月6日 17:00～18:00

時間が押し迫り、次は「壽屋酒店」。こちらも震災で建物自体は残ったものの、2階の床まで水につかりました。当然1階の商品やら冷蔵庫は全部ダメになり再建もあきらめていたそうです。しかし、ボランティアの方やお客様の声に励まされ再開。今はお孫さんも生まれ、地域に愛され頑張っています。今宵の分にとビールのお土産いただきました。

SCENE 5 9月6日 18:10～18:30

沈む夕陽を見ようと日和山へと急ぎましたが、ちょっと間に合わず。そこはかなり高くなっているなのでここで津波の襲来を見ていた人たちも多かったとか…自分たちの町が壊される場面は想像をはるかに越えると思います。今は穏やかな海。そしてこのあたりは春には桜が満開に咲き誇るそうです。その頃、また訪れたいな～

震災前
風景パネルを撮影



震災後
2013.9.6 現在の風景



SCENE 6 9月6日 18:45~19:10

一日目の締めくくりは”かめタオル”を扱っている「かめ七呉服店」津波で一階部分の商品全てが流れてしまいましたが、震災後7ヶ月目には再開しました。

震災直後の写真や、趣味で集めた雑誌などを見せていただきました。



SCENE 7 9月6日 20:00~

一路、今夜の宿に向けて車を走らせ、途中のコンビニで、おにぎりやらおでんやらを調達。その駐車場でも同行した方の知人とお会いしました。

再会を心から喜んでいました。真っ暗な道を走りたどり着いたところは、かつて避難所として使われていた場所。現在は電気も水道も整っていますが、震災後数日は、寒くて、暗くてとても不便な生活だったと思います。

一日だけの寝袋体験でしたが、皆さんには頭が下がります。

でも、いつ自分の身に起こるかわかりません。覚悟は必要ですね。

SCENE 8 9月7日 8:10~9:30

二日目。朝の散歩。目の前は穏やかな海が広がっています。

しかしいたるところに震災の爪あとが。家があったであろう場所は草が生い茂り、土台だけがその痕跡を残しています。

仮設の方々が朝食の終わる頃を見計らって、集會場で仮設の喫茶店。

急だったので10名ほどでしたが、ミルで挽く珈琲の香りに誘われて訪れた方もみえました。

珈琲とシフォンケーキをととても喜んでくださいました。

ホタテや手作りの牡蠣の佃煮をお土産にいただき、さらに帰りにはお見送り。

「千張小牧」ナンバーに「どこ?」と聞かれ、遠方から訪ねたということだけでも

とても感謝されました。「この珈琲の味は忘れない」握手しながらウルウルしていました。

後日、お礼のハガキもいただきました。



SCENE 9 9月7日 9:30~17:30

甚大な被害のあった女川町を通り、再び石巻へ。

横倒しのビルがそのまま残っていたり、線路は途中で終わっていたりと、

2年半の年月は果たして短いのか長いのか…。そして個人宅の片付けを

お手伝いしました。その地域の瓦礫処理場は個人で運べるのは9月末まで。

まだまだ解体待ちの家屋はたくさん残されていました。瓦礫処理場にも同行しました。

お昼に近くでラーメンを食べたあと、同行者が泥かきの手伝いをしたお宅を訪ねました。

津波の際に庭に16台もの車が流れてきたそうですが、奇跡的に家の外観は無事でした。

ようやく内装も整ったところだそうです。偶然にも、少し前に知り合いになった高山の

「復興レストランすえひろ」のマスターの親戚でした。

SCENE 10 9月7日 21:30~

力仕事の後は「元気の湯」で疲れを取り、夕食は海の幸。

新鮮で美味しかった。二日目の宿は女川のトレーラーハウス「エルファロ」。

もともと女川町で旅館を営んでいた方たちが、震災後廃業に追われ、

再建の目途が立たない状況だったところ、遠方よりみえるボランティアの人や

工事関係者に泊まる場所が必要との思いからはじめられました。

建築制限があるという事もあって、移動可能なトレーラーハウスにしたそうです。





SCENE 11 9月8日 10:00~10:20

三日目は朝からぐずついた天気。

女川のトレーラーハウスを出発して今回の目的地でもある「石巻市立湊小学校」へ。避難所が閉鎖された後、そのままの状態でしたが、学校再開が決まり、改修工事に入りました。遠巻きに眺めていましたが、同行者より、震災直後の様子を聞くと、とても信じられないものでした。体育館の天井まで水が来て2~3日は水が引きませんでした。校庭のバックネットの上で一晩過ごした方もあるそうです。真っ暗な闇の世界で寒さに震えながら過ごした人たちがいることを忘れてはいけません。時計はあの時刻で止まっています。映画の舞台になっている小学校を眼に焼き付けて後にしました。

SCENE 12 9月8日 10:30~11:00

学校近くで津波の被害に遭われた一軒のお宅が、思いきって建て直しをされました。

仮設住宅で暮らしながら、落ち着かない状態の中で過ごされていたそうです。仮設住宅には、いろいろな境遇の人がいます。家を新築することを言えないことも多いのです。今、夫婦二人で、ゆっくり過ぎる時間の中で生活されています。「部屋はあるから何時でも泊まりに来て!」と温かい言葉をいただきました。

SCENE 13 9月8日 11:30~12:30

予定より30分以上も遅れて初日に訪れた愛ちゃんの仮設へ。

「缶詰取りに来て〜」ということで行く約束をしていました。あせりながら到着した時、外に愛ちゃんの姿が。小雨の降る中、おそらくずっと待っていてくれたのでしょう。その姿だけでも感動だったのに、これから仙台に向かう私たちに、冷やし中華まで作ってありました。狭いキッチンで果物ナイフしかないのに、えのきや卵やきゅうりや茗荷いっぱい入れて。この味は一生忘れられないと思います。(あまりの不意打ちに誰も写真を撮っていません。私たちの心の中に焼き付けておきます)そして帰りには鯨の缶詰1箱。思わずハグして別れました。愛ちゃん、また来るから元気でね。



SCENE 14 9月8日 14:30~16:30

雨と渋滞の中、仙台に向けて出発! 2時半からの「石巻ジュニアジャズオーケストラ」の演奏に間に合うか? 大通りで降ろしてもらい走って目的地へ。

仙台定禅寺ジャズストリートライブ。仙台市の中心一体が音楽の町になり、いたるところで演奏が聞こえてきます。ジュニアジャズは震災後結成され約1年で初出場! 楽器も制服もない状態から、寄付で揃えられました。予約席で取り扱っている“MAGENEDO(負けねど)Tシャツ”も貢献しています。小、中学生のバンドとしては上手で、とても楽しそうに演奏しているのが伝わってきます。事務局の方に名古屋リトルフィルズのメンバーとの交流ができるようにと名刺等を渡してきました。いつか愛知に来て一緒に演奏できる日がくるといいな〜



SCENE 15 9月8日 16:30~ 20:30仙台出発

ジャズ演奏を聞いた後、さらに一人合流。パキスタン人のタヘルさん。

名古屋に住んでいるときから、神戸、中越、東日本とボランティア活動をされています。一ヶ月前に仙台に転居され、「友だちカレー」と称して東北の地でボランティア活動を続けています。パキスタン人のいない環境に家族ともども引越しをされ、活動を続ける。日本人でもなかなかできません。「怪しいものではありません」と前置きしてご近所のあいさつ回りをしたそうです。一緒に食べたずんだ餅美味しかった。旅の締めくくりは、仙台駅で牛タン定食を食べて、夜8時半、江南に向けて出発。この地を離れ難く、それまでに会った人たちの顔を思い出し、涙が出てきました。また、必ず訪ねたいと思いました。



予約席
Yoyakuseki

愛知県 江南市 小折東町旭 20-1
TEL:0587-53-4218 <http://yoyakuseki.jimdo.com/>

